

## 株主メモ

- **事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- **定時株主総会** 基準日 毎年3月31日  
開催日 毎年6月中
- **剰余金の配当** 期末配当基準日 3月31日  
中間配当基準日 9月30日
- **単元株式数** 100株
- **公告方法** 電子公告（事故その他やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載）  
<http://tpr.co.jp/>
- **株主名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
- **特別口座の口座管理機関** みずほ信託銀行株式会社
- **同事務取扱場所** みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
- **お問い合わせ先**

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットアース（みずほ銀行内の店舗） みずほ信託銀行 本店及び全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の本店及び全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。 特別口座では、単元未満株式の買取り以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。	

- ホームページアドレス <http://tpr.co.jp/>

## お知らせ

### 単元未満株式の買取制度について

単元未満株式（100株に満たない当社株式）を当社が買い取る【買取制度】がございます。

詳しくは、みずほ信託銀行(0120-288-324)にお問い合わせください。

#### ■ 買取制度の例（150株ご所有の場合）



### 配当金の確定申告について

確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引の証券会社にご確認ください。

## TPR株式会社



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。



# TPR

## TPR株式会社

証券コード：6463(東証一部)

# Innovate & Expand / Globally & Speedily

# 第86期 中間報告書

2018.04.01 ▶ 2018.09.30

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社第86期第2四半期連結累計期間が終了しましたので、概況につきご報告申し上げます。

弊社第2四半期連結累計期間の経済環境は、日本国内は個人消費の持ち直し、好調な設備投資や雇用所得の改善など緩やかに回復し、海外は米中の通商問題等の不安要素はあるものの、世界全体としては国内同様に緩やかな回復基調となりました。

弊社グループが主として関連する自動車業界におきましては、主力市場である中国、米国、日本国内の自動車販売が停滞するなかで、弊社グループでは国内の売上が好調に推移し、売上高は951億円（前年同期比4.0%増）となりました。一方、原材料価格の高騰、新車立上げに伴う一時的な費用、中国を中心に地場メーカーとの競争激化による低価格化、先進技術開発費用の増加等により、営業利益は93億円（同16.6%減）、経常利益は111億円（同12.9%減）、純利益は63億円（同4.5%減）となりました。原価低減活動や経費圧縮などに取り組み、期初の事業計画は達成することができましたが、減益要因をカバーすることができませんでした。

中間配当につきましては、当期の業績動向や財政状態を勘案し、また株主様の日頃のご支援にお応えするため、期初予想から1株当たり1円増配して、27円とさせていただきます。

## 新中期経営計画がスタートしました。

弊社は今年度2021年3月期を最終年度とする中期経営計画（20中計）をスタートさせました。「Innovate & Expand / Globally & Speedily」をスローガンに既存事業、新規事業の積極展開を推進して参ります。

今下期につきましては米中貿易摩擦による世界経済への影響や、新NAFTAや日米間の通商協議の行方など、自動車業界の先行きには不安もございますが、弊社は営業・技術・生産が一体となった活動により、既存商品の拡販強化、ファルテックをはじめとした新規分野各社による非パワートレーン事業の拡大、そして先進分野への積極投資による将来技術の確立に努めて参ります。

今後とも株主の皆様の変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月6日



代表取締役会長兼CEO

山岡 秀夫

## ■ 第2四半期連結決算ハイライト

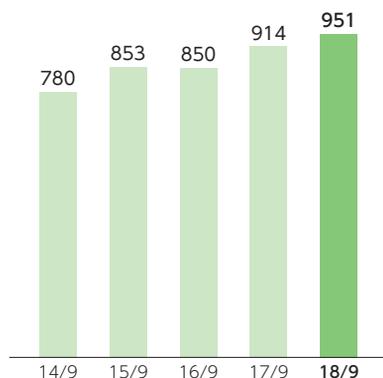
■ 売上高	951億 3百万円
■ 営業利益	93億23百万円
■ 経常利益	111億25百万円
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益	63億45百万円

## ■ 2019年3月期通期連結業績予想

■ 売上高	1,937億円
■ 営業利益	206億円
■ 経常利益	237億円
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	123億円

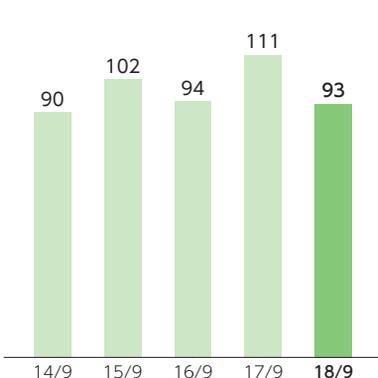
**売上高** 951億円 (前年同期比 4.0%増) 

(億円)



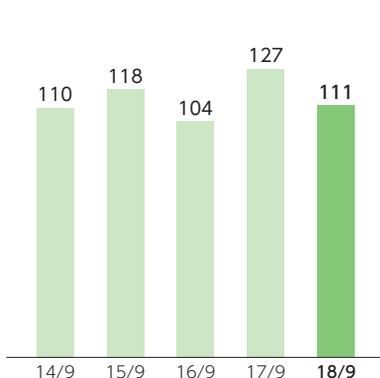
**営業利益** 93億円 (前年同期比 16.6%減) 

(億円)



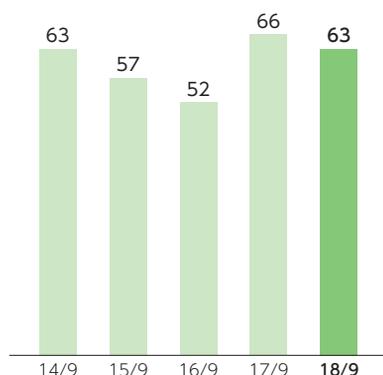
**経常利益** 111億円 (前年同期比 12.9%減) 

(億円)



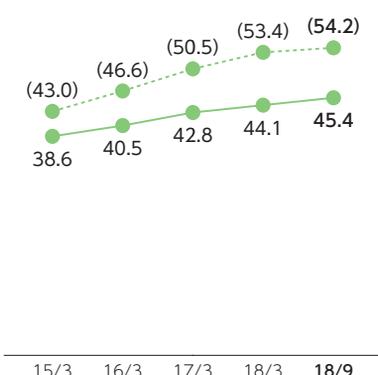
**親会社株主に帰属する四半期純利益** 63億円 (前年同期比 4.5%減) 

(億円)



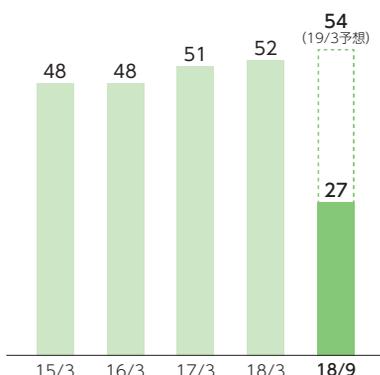
**自己資本比率**

(%)



**1株当たり配当金**

(円)



※ ( ) 内は、総資産から現預金を控除した場合の数値

# セグメント情報

## セグメント業績

売上高構成比率  
(当第2四半期連結累計期間)

日本

アジア

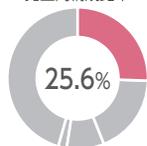
北米

その他地域

ファルテックグループ

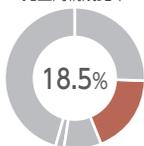
T P R グループ (ファルテックグループを除く)

売上高構成比率



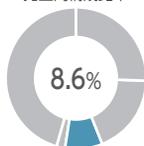
日本は、売上高は243億13百万円で、国内での受注増加及びゴム製品の製造・販売会社の連結化により、前年同期に比べて26億26百万円の増収となりました。セグメント利益は23億51百万円で、原材料の高騰や新技術の量産立上げコスト、新商品の開発費用などにより、前年同期に比べて4億64百万円の減益となりました。

売上高構成比率



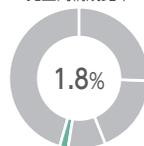
アジア地域は、売上高は176億23百万円で、中国での受注減や販売単価の下落などにより、前年同期に比べて8億22百万円の減収となりました。セグメント利益は48億85百万円で、売上高の減少や原材料の高騰、新工場移転に伴う費用などにより、前年同期に比べて12億90百万円の減益となりました。

売上高構成比率



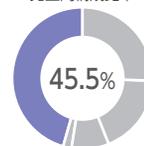
北米地域は、売上高は81億36百万円で、前年同期に比べて29百万円の増収となりました。セグメント利益は8億74百万円で、原材料の高騰などにより、前年同期に比べて37百万円の減益となりました。

売上高構成比率



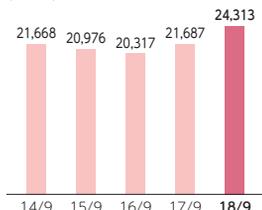
その他地域は、売上高は17億53百万円で、欧州での受注増加により、前年同期に比べて3億25百万円の増収となりました。セグメント利益は5億68百万円で、売上増による増産効果などにより、前年同期に比べて65百万円の増益となりました。

売上高構成比率

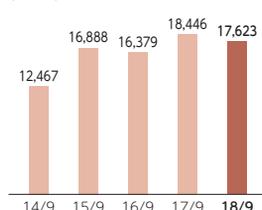


売上高は432億76百万円で、国内でのミリ波レーダーカバー、電装品などの新商品の販売増加により、前年同期に比べて14億80百万円の増収となりました。セグメント利益は2億90百万円で、国内での新規車種の準備費用や米国での新設事業の準備費用などにより、前年同期に比べて4億49百万円の減益となりました。

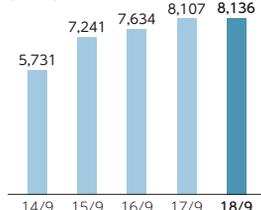
売上高  
(百万円)



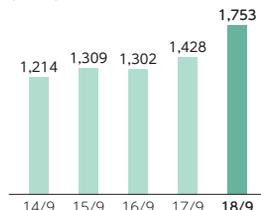
売上高  
(百万円)



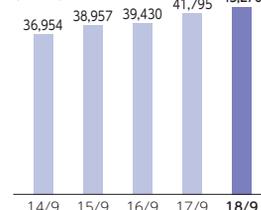
売上高  
(百万円)



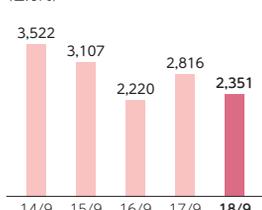
売上高  
(百万円)



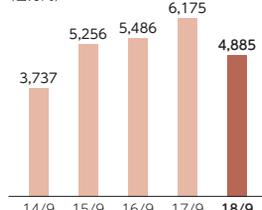
売上高  
(百万円)



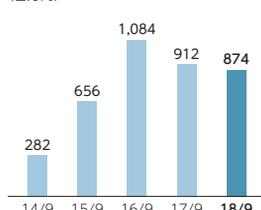
営業利益  
(百万円)



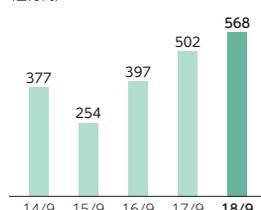
営業利益  
(百万円)



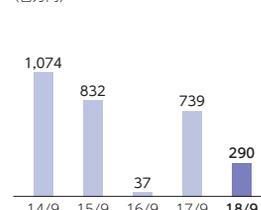
営業利益  
(百万円)



営業利益  
(百万円)



営業利益  
(百万円)



# 連結財務諸表

## ■ 四半期連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期末 (2018.9.30現在)	前期末 (2018.3.31現在)
資産の部		
流動資産	110,642	111,815
固定資産	121,508	121,687
有形固定資産	69,075	68,274
無形固定資産	2,673	2,888
投資その他の資産	49,759	50,524
資産合計	<b>232,150</b>	<b>233,502</b>
負債の部		
流動負債	69,060	72,001
固定負債	30,139	30,275
負債合計	<b>99,199</b>	<b>102,276</b>
純資産の部		
株主資本	92,052	86,619
その他の包括利益累計額	13,230	16,397
新株予約権	177	167
非支配株主持分	27,491	28,041
純資産合計	<b>132,950</b>	<b>131,226</b>
負債・純資産合計	<b>232,150</b>	<b>233,502</b>

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、89億34百万円（前年同期比22.8%減）となりました。主な資金の増加は、税金等調整前四半期純利益が109億17百万円、減価償却費が50億20百万円、主な資金の減少は、法人税等の支払額が27億96百万円、売上債権の増加額が14億57百万円、持分法による投資利益が12億16百万円、たな卸資産の増加額が7億6百万円、受取利息及び受取配当金が5億15百万円等によるものであります。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、66億61百万円（同21.3%増）となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出が61億19百万円、定期預金の預入による支出が3億45百万円、貸付けによる支出2億87百万円等によるものであります。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、47億2百万円（同33.3%減）となりました。これは主に長期借入れによる収入が38億円及び返済による支出が32億31百万円、非支配株主への配当金の支払額が25億79百万円、短期借入金の特約返済額が12億90百万円、配当金の支払額が9億25百万円、リース債務返済による支出が7億37百万円等によるものであります。

## ■ 四半期連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2018.4.1～ 2018.9.30)	前第2四半期 (2017.4.1～ 2017.9.30)
売上高	95,103	91,464
売上原価	71,865	67,219
売上総利益	23,237	24,244
販売費及び一般管理費	13,913	13,065
営業利益	<b>9,323</b>	<b>11,179</b>
営業外収益	2,083	1,865
営業外費用	282	277
経常利益	<b>11,125</b>	<b>12,766</b>
特別損失	225	155
税金等調整前四半期純利益	10,917	12,611
法人税等	2,166	3,040
四半期純利益	8,751	9,570
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,406	2,926
親会社株主に帰属する四半期純利益	<b>6,345</b>	<b>6,644</b>

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科目	当第2四半期 (2018.4.1～ 2018.9.30)	前第2四半期 (2017.4.1～ 2017.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,934	11,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,661	△ 5,493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,702	△ 7,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 733	△ 346
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 3,164	△ 1,310
現金及び現金同等物の期首残高	37,312	31,334
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	225	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,373	30,023

## ヤマハ発動機より品質優秀賞受賞

4月25日にヤマハ発動機の「2018年 グローバルサプライヤーズカンファレンス (GSC)」がアクトシティ浜松で開催され、TPRは「品質優秀賞」を受賞しました。



同賞は、ヤマハ発動機のグローバル取引先222社の中から直近3カ年において全ての拠点で品質不良0件を継続した中から、特に推薦の多かった4社のみが受賞できる賞であり、TPRは4年連続の受賞となりました。

## TPRI創立10周年記念式典

9月4日、TPRのインドにおけるシリンダライナの製造・販売拠点であるTPRIの創立10周年記念式典が執り行われました。記念式典にはTPR関係者及びTPRI社員全員とその家族が参加し、とても賑やかな式典となりました。



インド自動車市場は今も拡大を続けており、その中でTPRIは10年間でシリンダライナ生産量年間500万本、年商7億ルピーの企業にまで成長しました。今年4月に倉庫増設工事に着手、来年には生産能力増強を計画しており、ますます拡大する需要増に対応をして参ります。

### 会社概要

- 社 名 TPR株式会社
- 所在地等 〒100-0005  
東京都千代田区丸の内一丁目6番2号  
新丸の内センタービル  
TEL：03-5293-2811 (大代表)  
FAX：03-5293-2824  
URL：http://tpr.co.jp/
- 資 本 金 47億58百万円
- 設 立 1939年12月3日
- 従 業 員 769名

### 株式情報

#### 株式の状況

発行可能株式数	135,000,000 株
発行済株式数	36,100,099 株
株主数	4,396 名
上記のうち議決権を有する株主数	3,749 名

#### 大株主 (上位10名)

株主名	所有株数 (株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	2,395,000	6.73
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2,293,000	6.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,165,900	6.08
トヨタ自動車株式会社	2,070,600	5.81
株式会社みずほ銀行	1,518,800	4.26
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	1,357,000	3.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,305,300	3.66
ヒューリック株式会社	1,231,800	3.46
東京建物株式会社	933,687	2.62
TPR取引先持株会	901,100	2.53

(注) 持株比率は、自己株式 (519,411株) を控除して計算しています。(小数点第3位以下切り捨て)

#### 所有者別株式分布状況

